

健大初戦突破



5回裏健大高崎、箱山の犠飛で加藤がかえり先制＝甲子園

春夏連覇へ英明(香川)に1-0

第106回全国高校野球選手権大会が7日、兵庫県西宮市の甲子園球場で開幕し、今春の選抜大会優勝校で本県代表の健大高崎は、1回戦で英明(香川)に1-0で勝った。県勢6年ぶりの初戦突破で、初の春夏連覇に向けて好スタートを切った。

健大は五回、1死二塁から箱山遥人主将の左飛で二走加藤大成がタッチアップ。一気に本塁を突き、先制した。その後は追加点を奪えなかったが、先発左腕の下重賢慎が3回1/3を投げ被安打3、2番手右腕の石垣元気も5回2/3を投げ被安打0とそれぞれ好投し、1点を守り抜いた。

2回戦は大会第8日の14日、第1試合(午前8時開始予定)で岐阜城北―智弁学園(奈良)の勝者と対戦する。

第106回
夏の甲子園